



それぞれが道具を持ち寄って作業開始

夏休みの終わりに児童生徒の通学路の安全を確保するための除草清掃作業が8月24日、子ども会のメンバーを中心に行なわれました。
事前に当会の代表が法面部分^{のりめん}を除草作業をしていましたので、除草残滓^{ざんし}の除去運搬も行ないました。
今回は皆さんの保護者の方が参加して下さり、みんなが力を合わせた結果、約40分間の作業で見違えるようにきれいになりました。

子ども会が通学路の除草清掃

花壇の整備で地域の景観形成に貢献



▽作業前の花壇 △大量の除草残滓を処理しながらの作業



景観形成のための花壇が市道の脇にあります。昨年の11月下旬にビオラを植栽しました。
夏の花を植える予定でし

たが、時機をのがしてしまい、大変な数になってしまいました。ここには「八方原の環境を守る会」の看板が設置してありますが、既にそれも良く見えなような状態になっていました。
8月23日、花壇の雑草の除去を実施しました。花壇の雑草といっても丈の長い草ですので、刈り取ったものをどこに置くかも考えて行わなくてはなり

ません。
水田の傍なので、農作業に影響があつてはいけません。農業機械の侵入の妨げにならないように、通路を確保しながら除草残滓を移動してしました。
来月には、花壇を耕して新たに冬の花を植えていきたいと思っています。それまで少々お待ちください。

何とかしのいだ「お盆豪雨」

夏の真っ盛りに、激しい雨が降り出しました。まるで梅雨の終わりのような雨となりました。

今までの経験から「何かあるかも知れない」と誰もが思ったと思います。特に10日の雨は九州各地に大きな被害をもたらしていました。

九田川の水路には既に市から依頼を受けた中国建設工業さんの社員が待機しておられました。夕刻、九田川の水



市から委託されたとはいえ24時間体制での作業

雨量	日別降水量合計 (ミリメートル)
8月 9日	61.5
8月 10日	145.0
8月 11日	129.0
8月 12日	15.0
期間中合計	350.5

気象庁データベースより

位が上がると、始めると、直ぐに4台の排水ポンプが作動し始めました。お陰で何とかしのぐことができました。

夏の思い出「花火とゲーム」



楽しい思い出になったかな。手持ちの花火

来場・応援をお願いします

「農村環境の未来を考える研修会」で昨年の最優秀団体として事例発表を行ないます。地元の皆様の応援をお待ちしています。優先席を確保します。

【日時】 令和7年11月10日(月)
13時開会 16時30分閉会

【会場】 KDDI 維新ホール
メインホール

八方原の環境を守る会 代表 中村 文二

夏のリサイクル活動

夏休み期間中のリサイクル作業は、毎年お盆の台所がひと段落したこの頃に、子ども会の主催で行なわれます。

通常とは異なり、希望のお宅にはリサイクル品の回収に子ども会メンバーが訪問することになっています。しかし多くの方が、集積所まで持参されていました。今年一番の量が集まりました。



談笑の時間は何にも代えられない



焼き鳥とウィナーは炭火焼

夏の思い出はそれぞれありますが、一番暑いときに開催され夏まつりも、その一つでしょう。

当地区のふれあい盆踊りの歴史は古く、新盆をお迎えになる御家庭で行

なっていた盆踊りがその起源です。一時期それも開催できなくなっていました。今年も会場を八方原公民館として開催することができました。先人に対する慰霊行事ですから、慰霊祭と盆踊りは欠かせませんが、その他のイベントはそれぞれが毎年工夫して、楽しいものになってきました。

子どもたちの人気は射的ゲームや、金魚すくい(水なし)、スイカ割(紙風船)でした。そして最後は花火大会でした。また、来場者の多くの方が長い時間話し込んでおられました。



自動車や自転車で持ち込み(8月24日)

治山事業が前進中

一斑東側の山地についての治山事業が本年度から調査測量事業が始まりました。長年土砂流出に悩まされてきただけに、期待は膨らみます。

この一年かけてどこにどういう施設が必要なのか調査をするようになります。先般、県農林部の担当者から状況を聞く機会がありました。

まだごく一部の調査の状況ですが、土砂流出の原因の一つと見られる場所を発見したと教えてくれました。土砂は山全体から流れ出すのではなく、何かの原因でできた窪みが、小さな滝の形になり、その下部が水流で浸食されているとのことでした。こうした調査を積み重ねて行くのです。

自治会緊急連絡網にご参加ください



メールの場合は左上のQRコード

LINEの場合は右下のQRコード

